さくらさくら

平成２３年１２月１日発行
第８号

社会福祉法人　桜友会
児童心理療育施設　桜学館
〒501-3932 岐阜県関市稲口 777 番地 1
Tel　0575-24-0050　Fax 0575-24-0051

どっこいしょ
どっこいしょ
ソーランソーラン！！！

敬老行事
小学生によるソーラン節

行く秋に思うこと

１０月も終わり、秋が去るのを惜しむこの時期の思い出を俳句とともに紹介したい。

「パレードの音に団栗落ちにけり」、もう５・６年前のことになるだろうか。孫との約束を果たすべく、深夜バスの強行日程でディズニーランドへ行った。今より若かったからだ。この句は、まさに実景で、パレードを見ていたら上からぽとんと落ちてくるものがあった。街路樹の実は、団栗であった。華やかなパレードと団栗の組み合わせが余計におもしろかった。

「秋深し大仏様は動かざる」、小学校勤務の折、毎年６年生の子どもたちと奈良・京都へ修学旅行に出掛けた。この年はちょうど今頃だったので、古都の秋の深まりを感じ、どっしりと座り続ける奈良の大仏様の思いを想像するのは楽しいひと時だった。

さて、この時期の桜学館では、秋の行事が目白押しで、これまでも分級の小中合同体育祭、秋の収穫祭、オレンジリボンたすきリレー等々、次々と続いている。その中で、入所して数年が経つ児童、入所して間もない児童たちも、学館での生活に安心して溶け込んでいる様子を、日々うれしく眺めている。体育祭で元気に全力疾走する姿、避難訓練の講評で人の話を真剣に聞き入る姿を見るにつけ、子どもたちは心のバランス感覚を身に付けつつあると感じている。

今の時代は、ディズニーランドに代表されるように、あまりにもその場その場の楽しさを求めたり、強い刺激に興奮したりすることに慣れ過ぎている。手間隙かけてじっくり味わう感動、またひたむきな努力こそ、求めてほしい。「うれしさ」にも、「思いがけない幸運に出会って、跳び上がるほどうれしい」や、「人の情けやひたむきな姿が心にしみて、涙が出るほどうれしい」など、多様な「うれしさ」があることを実感させたい。ディズニーランドも大仏も両方とも在りで、面白いのだ。子どもたちには、バランスよく、偏りなく体験してほしいと思う。かくして、体験の多様さやその質の深まりによって、人は心の優しさを熟成させていくのだ。

おっと、過去の句ばかりだった。結びには、最新の句作を披露したい。４月からここに勤めさせていただいたおかげで、新鮮な学びを広げている。最近の職員採用試験もその一つで、数学の方程式なるものに久しぶりに出会った。そこで一句。「秋惜しむ方程式を解きし夜に」

副施設長　　野村　務

各ユニットより

風ユニット

夏休み恒例の「わくわくタイム」を今年は虹ユニットと合同で行いました。パフェやグミなどおやつ作り、恐竜の卵のオモシロ実験、ハンカチで作る巾着袋など…内容もグレードアップして楽しむことができました。

また、今年の風ユニットはスポーツの秋に燃えています。
休日の外出では、近くの公園のサイクリングコースに９月、10月と２回も行ってきました！最初は自転車に乗れなかったＴちゃんも、Ｈちゃん&Ｙちゃんの応援のおかげで、ものの２時間ほどで自転車に乗れるように！！！子どもたちは思い思いに自転車をこぎ、アスレッチクで走り回り、楽しい時間を過ごしました。（ついていくのに精一杯だった職員が、翌日悲鳴をあげていたのは内緒です。）

サイクリングの帰りには、コスモス畑に立ち寄って、綺麗なコスモスを眺めてきました。髪にお花を飾る女の子らしい姿も新たに発見!?できました。

虹ユニット

すっかり寒くなり、布団から出ることが億劫になってきました！！しかし、「子どもは風の子」と言うだけあって、時間があれば外でバトミントンをする、ケイドロをするといった様子で、寒さを感じさせません。毎日、子どもたちからエネルギーをもらうばかりです♪

そんな虹ユニットでは１０月に新しく仲間をむかえ、現在１０名の子どもたちで生活しています。今年度は、子どもたちが疑問に思っているルールや、こうしたいという希望を、誰しもが意見をいいやすい雰囲気作りを心がけてきました☆少しずつ、少しずつ…ではあるけれど、子どもたちの間にも、自分たちでユニットを作り上げていくという思いがでてきたように感じます。

また、子どもたちの意見から、私たち職員が気づかされることもあり、本当に深い仕事だなあとしみじみ感じます。

これからの虹ユニット！！一人一人の思いを大切に、みんなで高め合うことができるよう、まずは毎日笑顔で♪楽しく♪をモットーに…

光ユニット

相変わらず、元気いっぱいの光ユニット。小学生４年生のＤ君が９月に退所して６年生のＹ君が入所してくれました。１１人でスタートです。中学校３年生にとっては辛く苦しい半年ですが、皆で支えあって３月を笑って迎えられるように、残された時間を大切に過ごしたいなあ・・・。後悔のないように！！

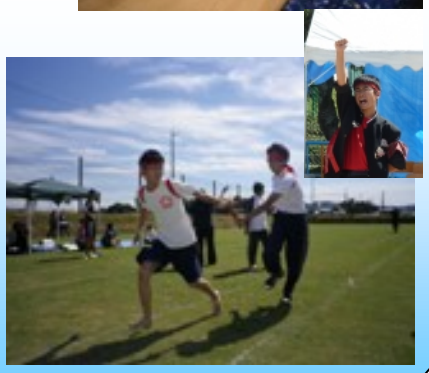
空ユニット

新しく入所してきた子も、入所暦を重ねてきた子も、それぞれが刺激し合い、思いやりのある暖かい雰囲気を作りあげています。

秋、季節の変わり目、風邪を引いちゃう子、鼻炎でくしゃみが止まらない子がたくさん。クシュン・クシュン☆

秋、そう秋といえば･･･。食欲？読書？運動？何の秋？
空ユニットといえば、３年ほど前は食欲の秋でした。たくさん食べる子がたくさん。でも今の空ユニットは運動の秋！！
月日が変わればユニットも変わるものです。

体育祭の応援団として格好良い姿を見せる高校生。
そして、体育祭でたくさん走り回った中学生たち。



小学生、体育祭で披露したソーラン節。
みんな格好良かったよ。
そんな空ユニットの秋の陣でした。

各ユニットより

夏恒例！！郡上市にある粥川バンガローへ、７月２３，２４日とキャンプへ行ってきました。今年は“みんなで作るキャンプ”を目指し、一人一人が役割をもって参加しました。エコな思いをこめて、竹でマイコップを作ったり、おばけの衣装を考えたり…。それにしても、おばけ役の子が全力で本当に怖かったです…。

夏祭り

夏恒例第２弾！！法人の夏祭りが今年も行われました。女の子たちは浴衣を着ておめかし♪水風船の接客に、出店を周って食べ歩き、最後はロマンティックに大きな打ち上げ花火…。空手同好会の子は、演武発表の場もあり、緊張して待っていたことでしょう。
子どもたちが１番（いや、クリスマス会が１番かも？）楽しみにしている行事です。

ソフトボール大会

スポーツ同好会では、秋から春にかけてサッカー、夏にはソフトボールの練習にはげんでいます。炎天下とまではいきませんが、猛暑の中の試合…。結果は、なんと１勝！！
今年はマネージャーとして多くの子が加わり、より一層元気に活動しています♪

収穫祭

５月にみんなで苗植えをして、夏もかかさず水やり当番。大きくなったサツマイモを焼き芋にしたり、秋の味覚の１つ、サンマを焼いたり、まさしく食欲の秋でした♪
ご家族や、学生ボランティアの協力もあり、BBQ、人形劇、ロシアン青汁…楽しんでくれて、嬉しかったなあ。
また、東日本大震災のボランティアへ行った職員伊藤からの報告もみんな真剣に聞き、それぞれ感じることがあったようです。

桜学館分級のあゆみ

感動いっぱい
小中合同体育祭大成功！

１０月３日，あじさいエコパークで小中合同体育祭が行われました。９月の取り組みを通して大きく成長した姿をしっかりと見せてくれ、本当に素晴らしい体育祭になりました。

一人で多くの役割を掛け持ちながら、見事にやりきることができた中学生は、本当に立派でした。

◇観客を感動させた団体演技

小学校は広々とした芝生の上でダイナミックな“ソーラン節”を見せてくれました。その姿からは真剣さがにじみ出てとても凛々しかったです。しっかりとした「絆」を感じました。

そして，中学校による“組み立て体操”少ない人数ですが，きびきびとした動きと素晴らしい団結力で観客の皆さんを魅了しました。分級の伝統を受け継ぎました。

ソーラン節

組み立て体操

個性輝く！分級伝統の
レインボーフェスティバル！
～輪と和～

今年のレインボーフェスティバルは、「人とのかかわり、つながり（輪）」と「おもてなしの心（和）」を大切に行いました。

一人一人が自分のお店に責任を持ち、やりきることで達成感を味わうことができました。喫茶で出された茶器は、この日のためにみんなが手作りしたもので、お客さんのことを考えて丁寧に作られたものでした。

ステージでは迫力のある太鼓やソーラン節、バンド演奏やダンスなど、今までの練習の成果を存分に発揮することができ、充実感を味わうことができました。

オレンジリボン運動

桜学館で行ってきたオレンジリボン運動

①いぶき祭り

７月 17 日、いぶき祭りでオレンジリボン運動の PR をしました。ステージ時間もいただけ、子どもの虐待防止を呼びかけました。地域の人たちに理解していただきオレンジリボングッズを２万２千円売り上げることができました。また、FC 岐阜の選手たちと一緒にオレンジリボングッズを販売でき、交流ができました。

②ラジオ出演

10月24日、岐阜市コミュニティーFM局「シティエフエムぎふ」、浅井彰子さんがパーソナリティーを務める昼の情報番組「アフタヌーンアワー」に桜学館職員が出演。オレンジリボン運動の PR をしてきました。

職員伊籐・大藪・佐藤出演の感想：ガチガチで緊張しましたが、パーソナリティーの浅井さんのフォローで安心して楽しく喋ることができました。ラジオを通じて声や言葉の大事さを感じました。

③オレンジリボンたすきリレー

１１月６日（日）に開催されたオレンジリボンたすきリレー、桜学館も参加しました。

ランナーは、桜ヶ丘中学校分級職員、実習に来ていたボランティア、桜学館職員から１０名。５．４キロを完走しました。一本のたすきを次のランナーにつなげることができました。また、桜学館で第６中継地イベントとして、吹奏楽演奏、ソーラン節が披露され、大いに盛り上がりました。

編集後記　東北大震災から半年が過ぎました。私の実家は福島です。放射線量の高い地域にあります。自分の地域が全国ニュースで取り上げられるたび、胸が締め付けられます。この夏我が家の除染作業をしてきました。炎天下の元、芝生を削り取る、土を掘り、木の枝を切り取る、家の壁にブラシをかける、たくさんの作業をしてきました。避難地域に指定された飯館村・人気のない村を見ました。家族で楽しんだパターゴルフ場が津波で消えていました。そんな夏でした。これからの 30 年、福島がどうなっていくのか、とても不安です。風評被害に負けないでほしい。そう切に願います。